

Don Quixote

ドン・キホーテ 新国立劇場バレエ団

NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2023/2024 SEASON BALLET & DANCE
THE NATIONAL BALLET OF JAPAN

OPERA
PALACE
Tokyo
オペラハウス

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo

2023年

10/20(金)19:00

21(土)13:00/18:30

22(日)13:00/18:30

24(火)13:00(貸切)

27(金)14:00

28(土)13:00/18:30

29(日)14:00

芸術監督 吉田 都

振付: マリウス・プティパ/アレクサンドル・ゴルスキー 改訂振付: アレクセイ・ファジェーチェフ 音楽: レオン・ミンクス

美術・衣裳: ヴャチスラフ・オークネフ 照明: 梶 孝三 指揮: マシュー・ロウ/富田実里 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

【資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

情熱的なスペインの恋。 最高にパワフルな古典バレエで新シーズン開幕！

2023/2024 シーズンは、楽しさと活気にあふれた古典バレエ『ドン・キホーテ』で幕を開けます。セルバンテス著「ドン・キホーテ」のエピソードが原作である本作は、床屋のバジルと町娘キトリの恋物語が、陽気に賑わうバルセロナの町で繰り広げられます。闘牛士や町の女たちによるスペイン舞踊、風車のエピソード、ドン・キホーテの夢の中で繰り上げられる美しい群舞、そして最終幕の恋人たちによるグラン・パ・ド・ドゥまで、古典バレエの美しさとバラエティに富んだ踊りの数々を堪能できる人気演目です。

新国立劇場バレエ団で上演している『ドン・キホーテ』は、モスクワ・ポリショイバレエ団で活躍し、芸術監督も務めた A.ファジェーチェフによるものです。彼によると、『ドン・キホーテ』はクラシックの粋を集めた舞踊芸術の華麗な祭典であり、プティパのバレエ作品の中でも最もモスクワらしい作品。この「モスクワらしさ」は、モスクワ派のバレエとポリショイの舞踊手に特有の、屈託のない大らかさ、遊びの感覚、即興的な自由がこの作品に溢れているところから生まれてくるもので、今回の上演にあたってはファジェーチェフに来日してもらい、バレエ団にその作品の核を直接指導してもらう予定です。

充実した新国立劇場バレエ団のソリストたちと定評ある美しいコール・ド・バレエによる見どころがたっぷりの、オーソドックスな古典バレエの世界を楽しんでいただけること間違いなしです。



見どころ

その1：物語を彩る個性的な登場人物たち

騎士ドン・キホーテとお供のサンチョ・パンサはもちろん、キトリとバジルの恋物語を盛り上げる個性的なキャラクターが次々と登場します。サンチョ・パンサや金持ちの貴族ガマーシュが巻き起こすコミカルなシーンや、花形闘牛士のエスパーダをめぐる女性たちのドラマなど、彼らが繰り広げるエピソードも必見です。



その2：第3幕の結婚式の<グラン・パ・ド・ドゥ>

ガラ・コンサートや国際コンクールでも人気の高い有名なパ・ド・ドゥ。主役ダンサーがダイナミックなジャンプや回転など超絶技巧を披露し、場内は一気に盛り上がります。今回、主役には5組のペアが登場。充実した陣容を誇る新国立劇場バレエ団ダンサーの実力を、日替わりでお楽しみいただけます。

その3：キャラクターダンスからバレエ・ブランまで、バラエティ豊かな踊りの数々

街の場面では、色鮮やかな衣裳をまとった女性ダンサーたちの目くるめく舞踊シーンはもちろん、スペイン舞踊の動きを取り入れた情熱的なキャラクターダンスを楽しむことができます。第2幕の森の場面では一転、クラシック・バレエの幻想的な世界に変わります。森の妖精たちのコール・ド・バレエなど、クラシック・バレエの真髄を堪能できるシーンです。



ものがたり

ドン・キホーテは農夫サンチョ・パンサを従えて冒険を求めて諸国を遍歴する旅に出る。活気あふれる港町バルセロナ。宿屋の看板娘キトリの恋人は床屋のバジルだが、キトリの父ロレンツォは娘を金持ちの貴族ガマーシュに嫁がせようと考えている。広場で人々が陽気に騒いでいるところに、ドン・キホーテとサンチョ・パンサが登場、ドン・キホーテは、キトリを自分の理想の女性であるドゥルシネア姫だと信じ込む。しかし彼女は騒ぎの間にバジルと一緒に町外れの居酒屋に隠れてしまう。追ってきたロレンツォたちは二人を見つける。キトリにガマーシュとの婚約を無理強いしようとするロレンツォに、バジルは「キトリと結婚できないのなら自殺する」と狂言自殺を図る。義憤にかられたドン・キホーテは、ロレンツォに槍を突きつけて、バジルの最期の願いであるキトリとの結婚を認めるように迫る。ロレンツォがしぶしぶ了解すると、死んだふりをしていたバジルは飛び起きて、キトリと喜び合うのだった。

ドン・キホーテとサンチョ・パンサは森の中をさまよっている。ドン・キホーテは風車を巨人と見誤って突撃するが、回り始めた風車の羽根に引っかかり、地面にたたきつけられ気を失う。夢の中でドン・キホーテはドゥルシネア姫（キトリ）と出会う。一方、サンチョは狩りを楽しんでいた公爵夫妻に会い、気を失っている主人を助けてくれるように頼み込み、公爵たちはドン・キホーテを自分の館に招くことにする。公爵夫妻はサンチョ・パンサからキトリとバジルの恋物語を聞き、館で二人の結婚式をあげるよう取りはからう。結婚を祝って華やかな宴が繰り広げられ、キトリとバジルも喜びに満ちた踊りを披露する。

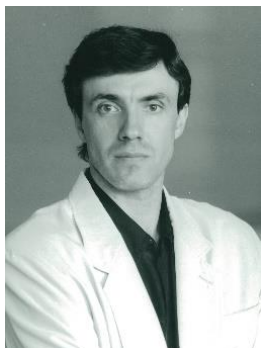


2020年公演より

撮影：鹿摩隆司

スタッフプロフィール

【改訂振付】 アレクセイ・ファジェーチェフ Alexei FADEYECHEV



1960年、モスクワ生まれ。ポリショイ劇場附属モスクワ舞蹈学校に入学し、アレクサンドル・プロコフィエフに師事。78年、同校卒業後、ポリショイ劇場バレエに入団。ロシア・クラシックバレエのほぼすべての重要な役を演じてきた。また、ローラン・プティ振付・演出によるポリショイ劇場版『シラノ・ド・ベルジュラック』のタイトルロールを初演キャストとして演じている。さらに英国ロイヤル・バレエに招かれてマクミラン振付・演出『パゴダの王子』『ロメオとジュリエット』の主演、ピーター・ライト版『くるみ割り人形』の王子を演じるなど、レパートリーを広げてきた。ポリショイ劇場のほか、マリインスキー・バレエ、デンマーク・ロイヤル・バレエ団、スウェーデン王立バレエ、オランダ国立バレエ、バーミンガム・ロイヤル・バレエ団、ボストン・バレエ、東京バレエ団からも招かれ、客演している。98年から2000年、ポリショイ劇場バレエ芸術監督。04年から13年までロストフ国立音楽劇場バレエ芸術監督を務めた。その後ジョージア国立バレエ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、ワルシャワ・ヴェルキ劇場の委嘱で古典作品の演出・振付を手がけ15年にはロイヤル・フランダース・バレエ『ドン・キホーテ』の振付演出など、振付家として世界各国で活躍している。ロシア人民芸術家。

【美術・衣裳】 ヴャチェスラフ・オークネフ Vyacheslav OKUNEV



サンクトペテルブルグ（旧レニングラード）生まれ。チェルカーソフ記念レニングラード演劇・音楽・映画大学卒業。ロシア人民芸術家。ミハイロフスキー劇場首席美術家。大学在学中の1975年以来、デザインを手がけたオペラ・バレエ作品は300本を超える。主な作品は以下の通り。マリインスキー劇場オペラ『三つのオレンジへの恋』『フィガロの結婚』、バレエ『 Coppélia』『ジゼル』『アンナ・カレーニナ』『ペトルーシュカ』。ポリショイ劇場オペラ『ホヴァンシチナ』、バレエ『ラ・シルフィード』『ロシアのハムレット』（エイフマン振付）。エイフマン・バレエ団『ドン・キホーテ』『チャイコフスキー』『カラマーゾフ』『赤いジゼル』『アンナ・カレーニナ』。ミハイロフスキー劇場オペラ『カルメン』『ラ・トラヴィアータ』『リゴレット』『オテロ』、バレエ『白鳥の湖』『ライモンダ』『ジゼル』『スパルタクス』。近年ではミラノ・スカラ座、アリーナ・ディ・ヴェローナ、グラスゴー王立劇場、ギリシャ、ポーランド、ハンガリー、韓国などの国立歌劇場、ニューヨーク・シティ・バレエなどの委嘱を受けて数多くの舞台美術を手がけている。新国立劇場では『白鳥の湖』『ジゼル』『ドン・キホーテ』『レ・シルフィード』の舞台美術および衣裳デザインを手がけている。

【照明】 梶 孝三 KAJI Kozo



上智大学新聞学科卒業後、早稲田大学芸術学科再入学。卒業後、小川舞台照明研究所に入門、照明を小川昇氏に師事。以来、日本における舞台照明の第一人者として活躍してきた。日本バレエ協会ほか国内の多くのバレエ団公演で照明を担当する一方、海外での仕事も多い。新国立劇場では『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』の照明を手がけている。1993年第19回橘秋子賞功労賞、2002年文化庁長官賞を受賞。06年死去。

【指揮】 マシュー・ロウ Matthew ROWE (20日、21日 13:00、22日、24日、27日、28日 13:00、29日)



オランダ国立バレエの音楽監督とオランダ・バレエ・オーケストラの首席指揮者を兼任し、世界中のバレエ団から客演の要望が絶えない。幅広いレパートリーと卓越した多様性、その技術や共同プロダクションでの経験において、指揮の世界で際立った存在として君臨している。彼のダイナミックなスタイルと卓越した技量、その細部へのこだわりは、彼の音楽的アプローチのトレードマークであり、そのために費やす情熱と献身、エネルギーは尊敬をもって知られている。

国際的にも評価された経歴の内、特筆すべきバレエ作品に、C.ウィールドン『シンデレラ』、A.ラトマンスキー『火の鳥』、S.ウエイ『春の祭典』、T.ブランセン『マタ・ハリ』、D.ドウソン『レクイエム』、A.L.オチョア『フリーダ』が挙げられる。彼のレパートリーには、G.バランシン、H.V.マーネン、W.マクレガー、K.パストルといった世界的な振付家の数多くの作品を含むほか、『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』『ジゼル』『コッペリア』といった古典作品も指揮する。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato (21日 18:30、28日 18:30、愛知公演)



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『ジゼル』を指揮した。

配役・プロフィール

2023年	10月20日 (金)19:00	21日(土) 13:00	21日(土) 18:30	22日(日) 13:00	22日(日) 18:30	24日(火) 13:00 《貸切》
キトリ	米沢 唯	柴山紗帆	木村優里	池田理沙子	小野絢子	柴山紗帆
バジル	速水涉悟	井澤 駿	渡邊峻郁	福岡雄大	中家正博	井澤 駿
2023年	27日(金) 14:00	28日(土) 13:00	28日(土) 18:30	29日(日) 14:00	11月3日 (金/祝)14:00 《愛知公演》	4日(土) 14:00 《愛知公演》
キトリ	米沢 唯	池田理沙子	木村優里	小野絢子	米沢 唯	木村優里
バジル	速水涉悟	福岡雄大	渡邊峻郁	中家正博	速水涉悟	渡邊峻郁



小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。04年アデリン・ジェニー国際バレエコンクール金賞、11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村 優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『ライモンダ』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主役を踊り好評を博した。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。本公演がプリンシパルとして初めての公演となる。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫、W.タケット『マクベス』マクベス夫人などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞、22年服部智恵子賞、23年中日文化賞ほか受賞多数。



池田 理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオDUOで学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主役や平山素子『Butterfly』『春の祭典』を踊り好評を博している。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ジゼル』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』の主演、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーン、W.タケット『マクベス』バンクォーなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



速水 渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』『くるみ割り人形』『コッペリア』『夏の夜の夢』『白鳥の湖』の主演のほか、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/白ウサギなどを踊る。21年ファースト・ソリストに昇格、23年プリンシパルに昇格。本公演がプリンシパルとして初めての公演となる。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主演を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『バゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』、平山素子『春の祭典』、W.タケット『マクベス』タイトルロールでも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主演やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、中村恩恵『Shakespeare THE SONNETS』、平山素子『半獣神の午後』などを踊り好評を博している。



中家正博 NAKAYA Masahiro <ファースト・ソリスト>

大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。またF.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロッセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト、『マノン』ムッシューG.M.、M.フォーキン『ペトルーシュカ』ムーア人など様々な役を演じている。23年ファースト・ソリストに昇格。

公演概要

2023/2024 シーズン

バレエ「ドン・キホーテ」

Don Quixote

振付 マリウス・プティパ/アレクサンドル・ゴルスキー
改訂振付 アレクセイ・ファジェーチェフ
音楽 レオン・ミンクス
美術・衣裳 ヴァチェスラフ・オークネフ
照明 梶 孝三
芸術監督 吉田 都

指揮 マシュー・ロウ/富田実里
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
出演 新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2023年10月20日(金) 19:00
10月21日(土) 13:00 **託児**
10月21日(土) 18:30
10月22日(日) 13:00
10月22日(日) 18:30
10月24日(火) 13:00 **【貸切】**
10月27日(金) 14:00 **託児** 
10月28日(土) 13:00
10月28日(土) 18:30
10月29日(日) 14:00

【他劇場での公演日程】

愛知県芸術劇場 大ホール
2023年11月3日(金・祝) 14:00
4日(土) 14:00

*開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

*10月24日(火)は貸切公演のため、Z席を含めチケット販売はございません。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。



バックステージツアー実施日(抽選)

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【主催】新国立劇場

【予定上演時間】約 2 時間 4 5 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/donquixote/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	14,850 円	12,650 円	9,350 円	6,050 円	4,950 円	1,650 円

○クラブ・ジ・アトレ会員の方は、先行販売期間は上記料金の 10%OFF、一般発売以降は 5%OFF でお求めいただけます。

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2023 年 8 月 12 日（土）10:00～22 日（火）

新国メンバーズ先行販売期間：2023 年 8 月 13 日（日）10:00～22 日（火）

一般発売日：2023 年 8 月 26 日（土）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999